

一般社団法人

香川県作業療法士会ニュース

発行：(一社)香川県作業療法士会広報部
事務局：〒769-0205 香川県綾歌郡宇多津町浜五番丁 62-1
四国医療専門学校 作業療法学科内
(一社)香川県作業療法士会事務局

URL:<http://www18.ocn.ne.jp/~k-ot/> E-mail:kagawa-ot@star.ocn.ne.jp

「切り札」— JOKER —

いわき病院 小松 博彦

平成元年（1989年）、ティムバートン監督が映画化した実写版「バットマン」が成功を収めた。黒いスーツをまとったヒーローバットマンの敵役がJOKER。その敵役が令和元年の映画館を賑わせた。

平成元年以降、いくつものバットマン映画が制作されているが、今回のJOKERは、いかにしてJOKERが生まれたのか、というオリジンストーリーになっている。個人と社会が持つ光と影、表と裏の二面性と精神性が描かれており、観た人によっては「考えさせられる」との声も。

人と社会は切っても切れない関係だ。一人でいたいと願っても一人にさせてくれないこともあれば、一人でいたくないと願いながら孤独に追い込まれることもある。日々の生活は個人の考え方や社会の価値観によって変化する。個人にとっても、社会にとっても生活は二面性どころか多面的だ。

JOKERといえばトランプ。意図的とも偶然とも言われるが、4つのスーツ（マーク）は季節を表し、52枚のカードは52週、すべてのカードの合計が364。そこにJOKERを加えて365日を表現しているとも。行うゲームによっては忌み嫌われるJOKER。だが、時には一発で形勢を逆転させる最強のトランプ=切り札になる。

使う人の考えや場の状況によってJOKERの二面性が発揮され、ゲームによってはなくてはならない存在だ。これからの社会の中で、個人の生活の中で、作業療法はどんなJOKERになれるだろう。

先輩の声

No.38 坂出市立病院 三谷 真由美
(19年目)



作業療法士になって19年。臨床実習から作業療法に夢中になり、作業療法が好きで気づけば年月が経っていました。これまでを振り返ると、独身の頃は遊びたいときに遊び、知識・技術・思考を広げるために好きな時に勉強会に行く自由な時間がたくさんありました。

結婚をしてからは、仕事と自己研鑽と家庭をうまく両立しているとはとても言い難い状況ではありますが、日々奮闘しながら自分なりに向き合っています。時の流れとともに立場が変わり、環境が変わり、考え方も変わってきました。そしてこの日常は、家族、職場の上司・同僚、友人など様々なサポートの上に成り立っていると思います。また、これまで子育てや人生を通して得た経験が、患者さんの治療につながっていると感じています。

それぞれの環境や、価値観など様々な要因で考え方が異なるのは当たり前なので、それぞれの生活に思いを馳せ、子育て中の人もそうでない人も尊重しあい、補いあうことが大切だと思います。

最後に、私自身が仕事を続けるうえで大切にしていることは二つあります。一つ目は「信頼」、頼りあえる仲間です。互いに尊重しあい、先輩・後輩関係なくわからないことを聞きあい、教えあえる関係を築くことです。二つ目は「笑顔」です。人生はいろいろ楽しいことや悲しいこともありますが、“笑う門には福来る”という思いを胸に過ごしています。これからも感謝の気持ちを忘れずに過ごしていきたいです。



No.39 医療法人 社団 彰志会 介護老人保健施設『ポタラの森』
リハビリテーション事業部 作業療法士 **安部 翔太**
(3年目)



私は、ポタラの森という介護老人保健施設で3年間リハビリの業務につかせていただいています。ポタラでは、デイケアに通われている利用者様や入所されている方を対象に支援をしています。

私が作業療法士を目指そうと思ったのは、高校卒業後、大学受験も失敗続きで不安だらけの時でした。母親が偶然リハビリという職業を見つけ、「目指してみたら？」と勧められました。

県外の大学に入り、卒業後は香川に帰り、地元の老健施設で業務を頑張っています。恥ずかしながら立派な理由や目標などはなく、当時はとりあえず何か将来のビジョンを持ちたいなと思っていた程度でした。

正直、嫌になったら辞めようかなと思っていましたが、いざ現場に立つと自身への責任を強く感じる事ができ、今では転職を考える余裕もないくらいです。

施設で高齢者の方々と接する時間が増えてからというもの、親戚の皆さんに、「最近、物腰が柔らかくなったな。」と言われました。実感はありませんが、少なからず変化はあるみたいです。外出をあまりしませんでした。100円ショップに繰り出し、便利グッズや簡単な手芸キットを発見しては購入し、施設の利用者様にもできるようにセッティングなど試行錯誤することが楽しみになっています。

今の職場には頼れる先輩や同僚だけでなく、人生経験豊かな利用者様が大勢おられます。初めて聞く話や言葉など教わることの方が多く、日々発展という感じです。これからも作業療法士として、ポタラの一員として、責任を持った仕事を続けていきたいです。



がんのリハビリテーションについて

高松赤十字病院 多田 奈津美



近年がん治療の進歩により、がんが“不治の病”であった時代から“がんと共存”する時代になりつつあります。がんそのものやがん治療によって生じるさまざまな障害に対してアプローチする、がんのリハビリテーションでは、機能改

善やADL向上、症状緩和、心理的サポートなどを図ることによって患者のQOLの向上を目指します。それだけでなく、身体機能を改善することで治療選択肢が広がったり、生存期間が延長したりという可能性についても示唆されています。

当院では、周術期～放射線や化学療法・移植術前～後、終末期など様々な病期における、様々ながんの患者に対して、手術後や化学療法中の体力維持向上・ADLの拡大を目標とした介入や、脳転移や骨転移における機能改善や環境調整に対する介入、また終末期患者に対してQOL向上を目指した介入を実施しています。作業療法士として、患者の病状や病期に合わせて患者と一緒に目標設定を実施し、傾聴と患者への寄り添いを大切に、患者の希望を叶えられるような作業療法の提供を心掛けています。

近年は、がん患者の生存率が向上していることに伴い、骨転移患者に対するリハビリテーション依頼が増えています。骨転移においてはリスク管理が重要となり、また骨転移と付き合いながら在宅生活を送っていく患者も多くいます。そのため、患者への動作指導や環境調整を実施し、時には在宅医療スタッフへの情報伝達や、福祉用具の選定、退院前訪問を実施しています。

以前担当した患者さんで、病的骨折のため体動時痛が強くなり入院した患者さんがいました。疼痛コントロールを行いながら、作業療法では動作指導や福祉機器の選定を行い、無事自宅退院することが出来、2か月間在宅で生活し、最後は病院で亡くなりました。その際、奥さんから「家ってすごだね。お父さん好きなもの食べて、好きなことして過ごせてよかった。」という言葉を受けて、退院支援の重要性を再認識できました。がん患者さんが“がんと共存”できるよう、作業療法士としてサポートしていきたいと思っています。

No.20

病院紹介

白寿の杜

湊 一樹

「白寿の杜」は平成16年の9月に医療法人十仁会が設立した介護老人保健施設です。「愛と至誠の心をもって医療・介護を誠実にやり地域社会に貢献する」を基本理念のもと日々業務に励んでいます。現在、入所定員77名、通所リハ定員25名を、リハビリスタッフOT3名PT1名にて行っています。

老健のもつ特徴として入所サービス、短期入所療養介護（ショートステイ）、通所リハビリテーションなど様々なサービスがあります。そのサービスを利用して、生活機能の維持・向上、家族や地域の人びと・医療機関と協力し、自立した在宅支援・在宅復帰を支援します。

介護保険法の改正（H30）において、老健施設の「在宅支援」機能が明示されました。しかし、実際は在宅復帰・支援が思うように進んでいませんでした。そのため、昨年より在宅支援・在宅復帰に向けての取り組みに励んでいます。当施設サービスの特徴として、限られた時間の中で成果を上げるために、リハビリが行われない日は介護スタッフによるADL訓練や歩行訓練等の実施。また、イベント（外出レクや慰問、出張買い物）などを行い、ADLの向上や離床時間の拡大を行っています。地域活動としては認知症カフェ（オレンジかふえ）の実施、地域相談や積極的な職場体験・実習・ボランティアの受け入れなどを行い、地域活動に貢献しています。

今後として在宅復帰と在宅療養支援の役割をバランス良く充実させ、地域で求められる存在にしていきたいと思えます。



新入会員紹介

今年度も多くの方が県士会に入会されました。
これからよろしくお願ひします。

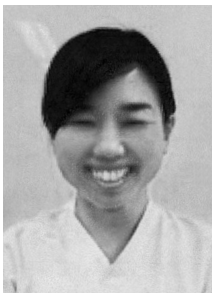
(順不同・敬称略)

- ①生年月日・血液型 ②出身地 ③出身校 ④勤務先
⑤趣味・特技 ⑥職歴 ⑦自己アピール ⑧抱負



佐藤 弘朗

- ①昭和54年4月26日 ②香川県 ③穴吹リハビリテーションカレッジ
④赤沢病院
⑤テレビ観賞
⑦笑顔でがんばる
⑧現職場に移動して日が浅いですが、一生懸命がんばりたいと思います。



露口 誓子

- ①昭和55年4月30日・A型 ②山口県 ③下関リハビリテーション学院
④赤沢病院 ⑤陶芸、キャンプ、サックス演奏、旅行
⑥病院(急性期～維持期)、就労支援事業所(A型、B型)
⑦広く浅くですが転勤先で色々経験してきました。新天地で頑張ります！
⑧子育て中で、なかなか研修会等参加しにくい状況ですが、香川県に在る間に香川のOTさんたちと沢山交流して色々学んでいきたいと思っています。宜しくお願ひ致します。



山口 真弘

- ①平成8年7月20日・O型
②岡山県
③玉野総合医療専門学校
④西紋病院
⑧今の自分にできることを頑張ります。



森永 明日香

- ①平成9年9月4日・A型 ②徳島県 ③徳島医療福祉専門学校
- ④橋本病院 ⑤水泳
- ⑦負けず嫌いな性格で、何事も最後まであきらめない所です。
- ⑧常に向上心を忘れず、患者様に信頼されるような作業療法士を目指したいです。



栞谷 阿実

- ①平成9年9月21日・O型 ②香川県 ③四国中央医療福祉総合学院
- ④橋本病院
- ⑤趣味はラーメンとうどん巡り
- ⑦何事にも一生懸命、丁寧に取り組みます。
- ⑧患者様の希望を叶えるために、一生懸命頑張ります。



八木 洋樹

- ①平成6年12月30日・A型 ②香川県三木町 ③四国医療専門学校
- ④創心会訪問看護リハビリステーション高松中央
- ⑤読書 ⑦何事も明るく楽しく。
- ⑧岡山県から地元に戻ってきました。その人らしさを大切にした作業療法を実践していきます。



神原 ゆい

- ①平成9年3月10日・A型 ②香川県
- ③四国医療専門学校
- ④しおかぜ病院
- ⑤カメラを持って出かけること
- ⑦頑張ります！



堀切 咲季

- ①平成8年5月7日・B型
- ②広島県
- ③広島国際大学
- ④しおかぜ病院
- ⑤野球観戦

第1回

リハビリテーション3団体 合同災害対策研修会を終えて

開催報告

令和元年9月21日に第1回リハビリテーション3団体合同災害対策合同研修会が行われました。3団体とは、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士の各香川県士会を意味し、今回の研修は各災害対策委員が合同で開催したものです。

前半は岡山県理学療法士会会長の國安勝司先生による、平成30年7月に発生した西日本豪雨の際のJRATの活動報告をしていただきました。後半は香川県県庁の長谷秀彦先生による避難所運営ゲームを通し、医療チームの一員として避難されている方々の自立度向上、介助量軽減の方法や環境設定、各専門職との連携の回り方などを話し合う場を設けていただきました。

両先生には避難所である体育館等で狭いパーソナルスペースで過ごされている被災者の方々が少しでも生活の質を落とすことなく過ごしていただけるようリハビリテーションの観点から何ができるかを見せていただくとともに、仮設住宅へのニーズの充足や環境の変化による生活不活発病の予防、元の生活への復帰における行政等の連携が今後の課題であり、地域リハビリテーションへの円滑な引き継ぎの重要性を訴えていただきました。

各県士会より39名、作業療法士会員より19名の方々にご参加頂きました。最下段にご参加頂きました方々の所属する病院、施設を記載させていただきます。ご参加頂き、誠にありがとうございました。



穴吹リハビリテーションカレッジ、いしかわ訪問看護ステーション、いわき病院、永生病院、香川県立白鳥病院、香川県立中央病院、香川大学医学部附属病院、介護保健施設さわやか荘、かがわ総合リハビリテーションセンター、キナシ大林病院、坂出市立病院、総合病院回生病院、高松協同病院、高松赤十字病院、徳島県立三好病院、橋本病院、ふたご山クリニック、訪問看護ステーションきなし、広瀬病院、まるがめ医療センター、三豊総合病院

(50音順)

『個別指導』 に関するアンケート調査の結果について

制度対策部長 川崎 真一

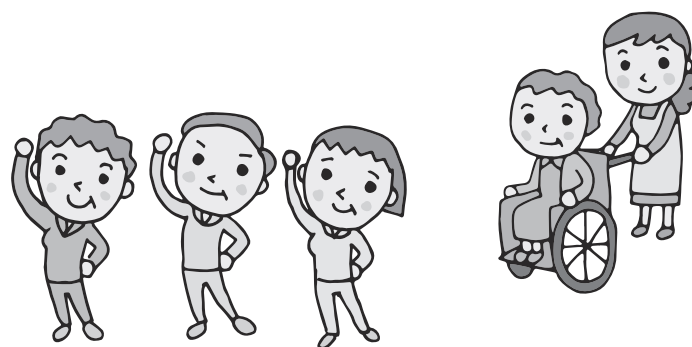
会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、制度対策部では会員所属の医療及び介護施設等に対する個別指導の実施状況等について令和元年6月、144施設にアンケート調査を実施しました。111施設（回収率：77%）からご回答いただき、ありがとうございました。その結果をご報告します。

設問①「平成29年4月1日以降に個別指導は実施されましたか？」の回答は、はい49施設、いいえ60施設、無回答2施設でした。

設問②「前回の個別指導はどこから実施されましたか？」の回答は、四国厚生支局34件、香川県長寿社会対策課31件、その他所在地の保健所などからでした。

回答をいただいた個々の指導内容については、制度対策部で保管していますので、ご連絡いただければ可能な範囲でお答えしたいと思います。今後も制度対策部の活動にご理解ご協力をお願い致します。



New!

リレーエッセイ⑧

糸川 洋介

(森川整形外科病院)

指山 真希

(松井病院)

池上 夏菜子

(高松協同病院)

あなたにとって夢や目標は何ですか？と尋ねると「そんなもんないな」という答えが多く聞かれます。また「あとはお迎えを待つだけや」なんて言葉を聞くこともあります。しかし、よくよく話を聞いてみると「昔はよく、街の方に行き物に行っていたのにに行けなくなった」や「最近、洗濯をするのがしんどくなった」等、生活において課題を抱えている利用者も少なくありません。

2019年10月、通所リハが大幅リニューアルし、以前提供していた1日と短時間のサービスから半日のサービスに生まれ変わりました。新サービスのコンセプトを「目標に向かって一緒に取り組みませんか？」として、小グループのリハビリや個別リハビリ、マシントレーニング、自主訓練等を利用者の目標や課題に合わせて組み合わせ提供します。

あなたの周りで「〇〇がしたい、〇〇ができるようになりたい」と困っている方はいませんか？高松協同病院通所リハはそんな希望や目標の実現に向け、一緒に取り組みサポートしていきます。そんな私は現在、高松協同病院の通所リハで働いています。



広告掲載についてのご説明

1.「(一社)香川県作業療法士会ニュース」について

作業療法、(一社)香川県作業療法士会の広報を主な目的に、年3回発行。会員・会員施設・関係団体など各号約800部を送付しています。

2.広告のサイズと料金(1掲載につき)

1 ページ	たて 24cm× よこ 16cm	40,000 円
1/2 ページ	たて 12cm× よこ 16cm	20,000 円
1/4 ページ	たて 12cm× よこ 8 cm	10,000 円

(一社)香川県作業療法士会賛助会員はそれぞれ半額となります。

3.広告の原版について

鮮明なものに限ります。写真・マークなども掲載できます。

いただいた原版はそのまま印刷されますので、サイズに収まるよう作成し、期日までにお送りください。(原版1部、コピー1部)

*ただし印刷の都合上若干、形などが変わることがあります。

期日(最終原版締め切り)は発行予定の1ヶ月前とさせていただきます。

4.掲載までの手順

- ①書類をご確認の上、申込用紙・原版・原版のコピーをお送りください。
- ②広告掲載料の振り込みをお願いいたします。
- ③掲載された県士会ニュースをお送りいたします。

原版送付先

〒761-2393 香川県綾歌郡綾川町滝宮 486

滝宮総合病院

リハビリテーション科 作業療法士 木村勇介

ご不明な点がございましたら

滝宮総合病院 作業療法士 木村勇介 までご連絡ください。

TEL **087-876-1145** FAX **087-876-1302**

入会

香川奈々美 (香川労災病院)
川村 千尋 (介護付有料老人ホーム 華寿荘)
小島 宣人 (介護老人保健施設ポタラの森)
船川 美穂 (介護老人保健施設ポタラの森)
武田 美月 (かがわ総合リハビリテーションセンター)
池内真木子 (三船病院)
宮崎 貴哉 (かがわ総合リハビリテーションセンター)

退会

酒井 智美 (自宅)
戸嶋 真佑 (アーチ訪問看護)
穴吹 康太 (デイケアセンター ますらを)



異動

佐藤 祥 (しおかぜ病院) ▶株式会社 Faro
高木 茜 (ブルースカイ松井病院)
▶介護老人保健施設 さつき荘
福家 梨菜 (おさか脳神経外科病院) ▶自宅
谷岡 祐実 (高松市民病院塩江分院)
▶高松市立みんなの病院
増田 憲光 (介護老人保健施設 渡の里)
▶介護老人保健施設 小山荘



■ (一社) 香川県作業療法士会ニュース No.78 ■

編集長：木村勇介 編集委員：水口未紅・安藤瑞基・村上太気・善相原健史・瀬知杏奈・大島祐輝
細谷かぐや・金倉由美・田村綾香・宇佐川雄太・平尾芹奈・菊池英里